

1月31日

交通安全運動推進協議会に警察から感謝状



弟子屈・標茶両町の交通安全運動推進協議会に、弟子屈警察署からの感謝状が贈られました。

贈呈式は1月31日、同署で行われ、本町については同協議会副会長で弟子屈町交通安全協会長の村岡幸雄さんに小林順也署長から感謝状が手渡されました。

弟子屈警察署は、平成25年中の管内交通安全事故ゼロ達成により、道知事からの感謝状を受けました。両協議会の日頃の交通安全活動が事故抑止につながったものとして、同署長から両協会に感謝状を贈ったものです。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 482-2913 (課直通)

屈斜路郵便局で証明書などの申請可能に

証明書等事務取り扱いに係る協定書調印式

証明書等交付事務取扱に係る協定書調印式
弟子屈町・日本郵便株式会社



協定書に調印する徳永町長(右)と大和田統括局長

町と日本郵便(株)による証明書等事務取り扱いに係る協定調印式が2月6日、役場で行われました。調印式では、徳永町長と大和田勇日本郵便(株)釧路地区連絡会統括局長が協定書を交わしました。現在、屈斜路支所(毎週水曜日開設)で行っている住民票などの証明書交付事務を、4月1日から屈斜路郵便局に委託する(16ページ参照)協定。郵便局が地方自治体の証明書交付事務委託を受けるのは、道内では32局、釧路管内では釧路市、鶴居村に続いて3局目です。屈斜路支所は1950年に開設。2001年の法改正により、郵便局で証明書交付事務の取り扱いができるようになったことを受け、町が同連絡会と協議を重ね、業務委託を決めたものです。

調印式で徳永町長は「地域の拠点として、民間サービスを発揮してほしい」とあいさつ。大和田統括局長は「地域の見守りなども行っていくたい」と抱負を述べました。

2月5・6日

和楽器の素晴らしさに触れる 弟子屈中学生徒が音楽の授業で箏(そう)に挑戦



弟子屈中学校(坂東薫校長)の1年生が、音楽の授業で箏の演奏に挑戦しました。

中学校の音楽では、和楽器が必修となっています。同校では毎年、生田流琴友会(辻谷武喜代表)の皆さんの協力のもと、箏を演奏。日本の伝統文化や和楽器と触れ合い、関心を高めています。

この日は、箏についての説明を受け、同会の皆さんによる演奏を鑑賞。その後、皆さんの指導を受けながら「さくらさくら」を合奏しました。

2月3日

初の全国優勝を誓う 4Hクラブが大会を前に役場を表敬訪問



全国大会最高賞を誓う皆さん

農業青年でつくる弟子屈町4Hクラブの皆さんが、1月28・29日に札幌市で行われた平成25年度北海道青年農業者会議のプロジェクト発表(土地利用型作物部門)で最優秀賞を受賞、3月の全国大会出場を決めました。全国大会出場は昨年に続き二度目。2月3日には役場で受賞を報告しました。

昨年から取り組む、摩周そばの安定生産に向けたプロジェクトでの受賞。今年のテーマは「SOBA-青さに魅かれし男達」で、質の良いソバの生産に関する研究と、その内容が同生産組合に認められた点などが評価されました。

2月23日

摩周外輪山をスノーシュー(西洋かんじき)で散策 川湯エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事



川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「摩周外輪山スノーシューウォーク」が2月23日に行われ、町内外から23人が参加しました。

参加者の皆さんは、摩周湖第1展望台を出発し、雪の上についた動物の足跡を観察したり、雄大な屈斜路カルデラや摩周カルデラの遠望を眺めながら第3展望台方面へ。幼鳥を含む4羽のオオワシが湖上を旋回する姿も見られました。摩周湖に関するクイズやアイヌの伝説披露なども行われ、さまざまな角度からの摩周エリアを堪能。太平洋まで望むことができた気持ちの良い青空の下で、お弁当を楽しみました。

2月6日

体験者の話で昔の暮らしぶりに思いをはせる 屈斜路の歴史を聞く会を開催



地域の歴史を振り返る

介護予防教室「和琴転ばん教室」の活動として2月6日、屈斜路の歴史を聞く会が屈斜路研修センターで行われました。教室参加者でもある80代の男性5人が昔を振り返り、てしかが郷土研究会の斎藤敬子さんが聞き手と記録を務めました。

話し手は、入植者から数えると既に孫世代。最年長の野下銀藏さん(88歳)は「川や湖からの水を運ぶのが、子どもの最初の仕事」と懐かしそうに話し、大関實さん(84歳)は「今のよう機械がなく、畑でも山でも手作業だった」と身振りを交えて披露。耳を傾けていた方は時折、驚きの声を上げながら聴いていました。

町の話題



町の話題



寒空を彩る打ち上げ花火



バギーが引くそり(上) スノーモービル体験(下)



氷の滑り台は大人気(上2枚)



熱戦続きの氷上綱引き

多彩なイベントで冬の寒さを楽しむ

摩周ウインターフェスタ2014

摩周ウインターフェスタ2014(同実行委員会主催)が2月8・9の両日、ふれあいスペースコラーレ(弟子屈町商工会駐車場)で開催されました。イベントの少ない冬の町を活性化させようと毎年開催されているもので、今年で8回目です。楽しみにしていた子どもたちや家族連れなど、たくさんの方が会場を訪れました。会場には今年も、巨大な氷の滑り台が設置されたほか、チューブスライダーも用意され、子どもたちの人気を集めていました。アイスキャンドルなどが飾られた会場では、ジャガイモ拾いやお菓子まき、クイズラリー、氷上自転車体験、摩周そばの試食会、アイススクリーム作り、お楽しみ抽選会、雪像作りなど趣向を凝らしたイベントが行われました。また、氷上綱引き大会では、熱い戦いが繰り広げられました。8日の夜には、摩周冬空花火の打ち上げが行われ、観客からは歓声が上がっていました。



会場ではさまざまな催しが